

「ホワイト物流」推進運動について

1. 背景

- トラック輸送の将来の担い手を確保するためには、職業としての運転者の魅力を高めることが必要。
人材が得られなければ、物流は停滞し、国民生活や産業活動にも影響。
- 運転者不足が深刻な中で、必要な物流の確保と、長時間労働の是正等の働き方改革を両立することは容易ではない。
- だからこそ、サプライチェーンの関係者が連携し、少しでも早く、具体的な物流の改善に取り組むことが必要。

↓

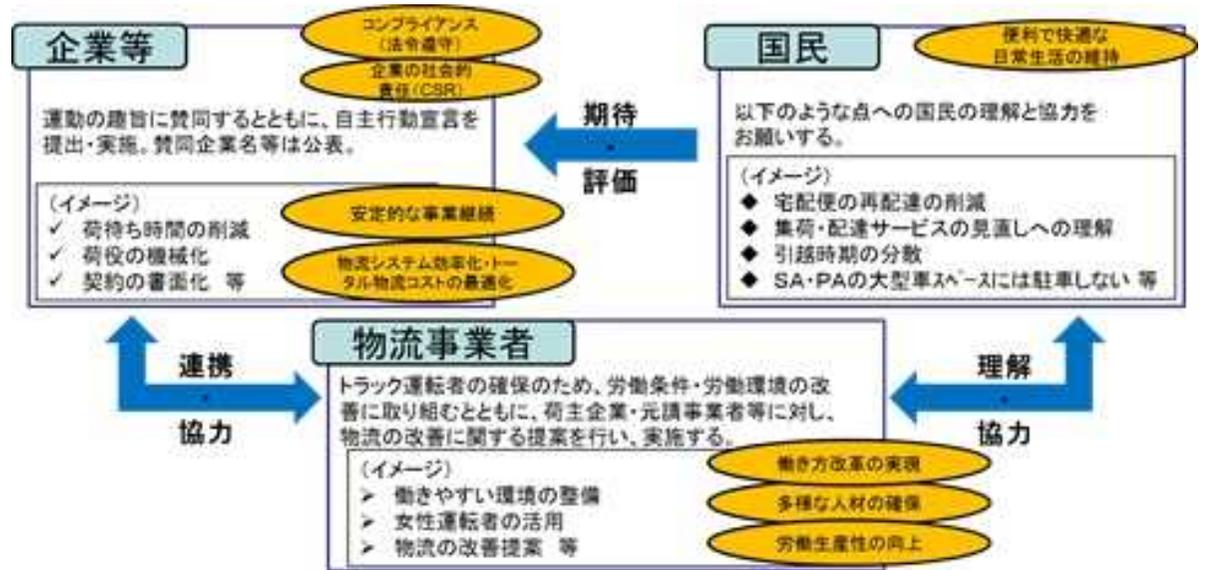
ドライバーの労働環境改善、ドライバーの地位向上(エッセンシャルワーカーとしての社会的認知など)

2. 「ホワイト物流」推進運動の目的

トラック運転者不足が深刻になっていることに対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済成長に寄与することを目的として、以下に取り組む運動。

- ①トラック輸送の生産性向上・物流の効率化
- ②女性や60代の運転者等も働きやすい「よりホワイト」な労働環境の実現

荷主企業・物流事業者が連携し、相互に改善を提案、協力して実現を目指す取組を推進する運動



3. 運動への参加

- 運動への参加は、「自主行動宣言」の必須項目(取組方針・法令遵守への配慮・契約内容の明確化・遵守)に合意し、賛同表明。

【「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト <https://white-logistics-movement.jp/>】

賛同企業数 1,278社(令和3年9月末時点) 宮城県は、15社が賛同